

関東自動車株式会社

FOMAテレビ電話で運転手のアルコール測定を実施

旅客・貨物自動車運送業界では、運行管理者が運転手に対して、乗務前後に対面点呼を行い健康状態や飲酒の確認することが法令で義務付けられている。しかし、遠隔地から戻る際に対面チェックを行う術がないのが課題だった。

栃木県宇都宮市を本拠にバス事業を展開する関東自動車では、こうした課題の解決策として2006年6月、NTTドコモが提供する「FOMAテレビ電話アルコール

チェックシステム」を導入した。

同システムは、管理用ソフトをインストールしたセンター側PCと、アルコールチェッカーを接続したFOMA携帯電話との間で、テレビ電話による擬似的な対面点呼を可能にするもの。関東自動車では管理用ソフトを6ライセンス、FOMA端末・アルコールチェッカーを各55台導入した。

路線バスの無人車庫や観光バスの宿泊先などで、運転手がFOMA端末からセン

「FOMAテレビ電話アルコールチェックシステム」の概要



アルコールセンサー(タニタ製)
FOMA900シリーズ、700シリーズ

Profile

関東自動車株式会社
<http://www.kantobus.co.jp/>

所在地

栃木県宇都宮市駅前通り
3-2-5

事業内容

一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業

MCPC award 2007

奨励賞

| | | | |
|----------|----------|-------|-------|
| 業種 | 旅客自動車運送業 | | |
| 活用分野 | 業務管理 | | |
| キーテクノロジー | 携帯電話 | テレビ電話 | 業務アプリ |

ターを呼び出すと、発信者番号をもとに運転手情報を登録したデータベースから該当する社員の顔写真を含む各種情報を管理者側PCの画面に表示。テレビ電話の映像と写真を照合して本人であることを確認できる。そして、アルコールチェッカーに運転手が息を吹きかけると、PC上に呼気中のアルコール濃度と判定結果がリアルタイムに表示され、運転の可否などの確な指示を行える。

この仕組みにより、運転手管理に関わる業務が大きく前進しただけでなく、運転手自身の飲酒運転防止に対する意識高揚も図られた。